

就実教育実践研究センターと子育て支援 3 — 大学附属機関による地域子育て支援事業モデル —

佐藤和順, 北川歳昭 (就実大学), 秋山明男 (岡山県備前県民局)

A child-rearing Support Model by Shujitsu Center for Educational Research and Training III

Kazuyuki SATO, Toshiaki KITAGAWA (Shujitsu University) and
akio AKIYAMA (Bizen General Service, Okayama Prefectural Government)

抄 録

就実大学・就実短期大学の附属機関である就実教育実践研究センターが主体となって運営している就実子育てアカデミー事業の現状と課題について報告する。事業の中心は、協働的な実行委員会組織の形成、ひろば型事業である親子ふれあいタイムの実施、情報発信型子育て支援である「親子ふれあい通信」の発行等の実施である。本稿では、事業の概要を報告したうえで、平成22年度の重点課題であった父親の育児参画に関する取り組みに特化し言及する。

キーワード：地域貢献, 子育て支援, 私立大学, 附属機関